

家庭学習の手引き

保管用 (見やすいところに貼ってください。)

お子さんの力を伸ばすために



学習に対する意欲を高めることが大切です！

そのためには…

- ◆できるだけノートに目を通して、お子さんの学習の様子を把握してください。
- ◆間違いや、できなかった所を指摘するのではなく、頑張りや成果を褒めてあげてください。

緑小学校では全学年で同じドリルを使用し、全校で一体となって子どもたちの力を伸ばす取組を進めています。①授業中での練習→②宿題・家庭学習での活用→③グリーンタイム（朝学習）での活用、のくり返しで子どもたちに基礎学力を定着させたいと考えています。各ご家庭でも、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

家庭学習 緑小スタンダード

- 1年生
 - ・前期 宿題（プリント）
 - ・後期 宿題（ドリルの問題をノートに解く課題）
 - 2年生以上
 - ・宿題（ドリルの問題をノートに解く課題）
 - 3年生以上
 - ・宿題（ドリルの問題をノートに解く課題）
- +
- ・自主課題（ノートにする）
- ※宿題は教師が出す課題です。上記のほかにも音読や日記などが宿題で出ることもあります。
自主課題は自分で考えて決めた内容です。

宿題について

- ◆基本的には、ドリルの問題をノートに行います。（プリントの場合もあります）
- ◆答え合わせは、子どもたちが自分で行うことを目指します。ですが、低学年のうちは、お家の方のご協力が必要です。丸付けのご協力をお願いします。
- ◆間違えた問題には、印（○）を付けておきます。ドリルはくり返し取り組みますので、2回目以降にあっていれば○を塗りつぶします。（苦手な問題の把握と達成感を味わうためです）
- ◆ドリルを活用した宿題には、以下のような課題が出ます。

- 〈漢字ドリルの場合〉
- ① 新出漢字の欄をノートに写す。
 - ② 「読む」のページをノートに写す。
 - ③ 「書く」のページをノートに漢字で書く。

- 〈計算ドリルの場合〉
- ① 授業で取り組んだ内容の問題。
 - ② 1度取り組んだ問題に、少し間をおいて取り組む。

家庭学習の習慣化のために

- ◆学習時間の目安
 - ・学年×10分+10分が目安です。
- ◆規則正しい生活がカギ！
 - ・早寝、早起き。
 - ・朝食を必ずとる。
 - ・朝の排便。
 - ・自分で時間割や学習用具をそろえる。
 - ・家に帰ったら、早めに学習をすませる。
 - ・テレビやゲームは時間を決める。
- ◆学習の大切な3つのポイント
 - ・学習する時はテレビを消す。（家族の協力が必要です。）
 - ・正しい姿勢、正しい鉛筆の持ち方（三角持ち）。（姿勢が悪いとすぐ疲れてしまい、集中力が続きません。）
 - ・机の上をきれいにかたづける。（環境が整うと、思考もスッキリと整います。）



ドリルを使った宿題の流れ

漢字の宿題

漢字の練習
新出漢字の読み・書き順・熟語・文の練習

漢字の定着
「書く」のページを使っての練習

計算の宿題

1回目 計算の練習
授業で習った範囲の計算練習

2回目以降 計算の定着
少し間をおいてくり返すことが確実な定着につながります。同じページを2回以上解くように、計画的に宿題に出します。

提出されたノートは教師がチェックする。

1回目は授業が終わった日の宿題に出す。

提出されたノートは教師が点検する。

中学年以降は子どもが丸付けをしてから提出する。

- ◆宿題が終わったら、+αで自主学習に取り組みます。何をしたらよいか困ったら、ドリルも活用できます！
- ◆宿題を忘れた子については、休み時間等を利用して取り組みます。

